

転敬

2017 9 Sept

平成 29 年 9 月 1 日発行
第 18 卷第 9 号 通算 211 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

ちかみち じきどう
近道と直道

水谷随歎

人生の成功とは何でしょうか。

人がいます。

短時間で巨万の富を得た人。無名
だった者が一躍有名な歌手になつたな
ど、普通の人が働いても働いても到達
し得ない所にいとも簡単にのし上がる

いわば、宝くじに当たつたような人
です。それをメディアが取り上げ面白
おかしく書きたてたり、言いつのつた
りする。このような話に憧れを抱く人

は多いでしょう。

まかぬ種は生えぬという因果の道理に照らしてみると、苦勞なく成功した人は、一体いつ種まきをしたのか、疑問が起こります。しかし、因果は三世に亘っていますから、前世の種まきの影響と考えれば、今現在まぐれ当たりに見えても、それにはそこに至る原因があったということでしょう。

成功した人に憧れて努力を重ねるのは大事なことです。しかし、近道で成功した人に憧れて、コツコツ働くなんて馬鹿げていると考え、真剣

に取り組む心が薄れるのは問題です。

確かに人生は努力しただけで幸福になれるとは限りません。だからといって、知恵も努力も修行も要らない安易な道だけで成功すると考えるのは、不心得というものです。妙法を口唱信行してご利益を頂く当宗の信心は、安易な近道を教えているものではありません。

妙法の信心は、ご利益の近道と考えず、直道じきどうと心得てください。直道とは直結の道、ご利益への直結の道です。この直道を日本に弘通されたのは日蓮聖人です。我々がご利益を

頂けるのは、迷いや疑いの心に打ち勝って、教わった通りにさせて頂くからです。

実際にご利益を頂いた時に、信心は願いを叶える近道と思いがちですが、それは違います。

教わった通りに実行し、それによってご宝前と感応した時にはじめて頂けるのです。

例えば、こういうことです。教わった通りに実行し、お線香百本の口唱でご利益を頂いたとします。それを思い出し、今回もお線香百本唱えたらご利益が頂けると思ったら何もな

かったという事があります。これです。信心は心なのです。願いを叶える為の方法論ではありません。

常に「信の一字」を心に抱き、近道を求める横着な心を払いのけることです。それが心の成功への一歩です。成功は富や名声ではありません。自分の心が「よくやった」と言えることが成功だと思えます。それを心に刻みつけ、悔いのない生涯を刻んでゆきましょう。

9月のご奉公のすすめ

お祖師様の「竜の口御法難」という手本があればこそ、我々

もさまざまな苦難を妙法口唱で乗り越える信念が持てます。今年度のご弘通のテーマ「教化」成就に向かって信念をもやましましょう。

持ちで周囲の方々の幸せを願いまししょう。

・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間

1日(金)から7日(木)

二、**竜の口御法難記念五時間口唱会**

一、**随喜轉教について**
9月はお彼岸の月です。両親・祖父母・ご先祖のおかげに感謝し、志厚くご回向させて頂きましょう。あわせて、ささえられて生活している事へのお礼の気

9月3日(日)午前9時半から午後2時半まで、本堂にて五時間口唱会が開催されます。教区・班内の若い人や家族に声をかけ、共に無味口唱の実践に挑戦しましょう。

9月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(金) 開講本旨再興祈願総講

午前10時半

2日(土) 運営会議

午前9時半

// 秋季彼岸総回向ご回向

9日(土) 連合幹事会

午前9時半

// 後続者育成連絡会

13日(水) 高祖大士御命日総講

午前10時半

17日(日) 開導聖人御命日総講

午前10時半



お祖師様、竜の口御法難之絵

三、秋季彼岸総回向

秋の彼岸総回向の法要は、9月23日(土)です。本堂で午前10時より、午後0時半から六角堂で勤まります。お塔婆、ご回向の申し込みは、9月2日(土)までに教区でとりまとめて寺務所にお納め下さい。尚、お塔婆は、本堂用、六角堂用共に一本500円です。

四、防災の月

「災害は忘れたころにやって来る」と言いますが、常日頃の備えが大切です。御宝前の転倒防止や防災用具の点検、家族の連絡を話し合っておきましょう。地域の防災訓練にも積極的に参加するようにおすすめします。

五、高祖会の予告

秋のお会式「高祖会」は、10月15日(日)に奉修されます。今月のうちから一軒一軒お助行して、丁寧に参加将引のご奉公をさせて頂きましょう。

20日～26日 秋季彼岸朝参詣週

間

23日(土・祝)

秋季総回向法要

本堂 午前10時

24日(日)

六角堂 午後0時半
高祖会奉修費、御供米
料奉納、参詣人数申込

締切

25日(月)

門祖聖人御命日総講

午前10時半

// 正副教区長会

午後0時半

一地区…和室

二地区…2階ホール

三地区…1階ホール

今年も夏期参詣は暑かった



今年、1階ロビーと本堂入り口には、夏期参詣将引の塗り絵が張り出され、皆さんの朝参詣を応援していました。ろっか



子どもから大人まで楽しい塗り絵で将引

め君や、おなじみのキャラクターに思い思いの色付けをして応募して下さいました皆さん、ありがとうございました。

最終日曜日の30日、山本事務局

長からの挨拶は次の通りでした。

「ありがとうございます。夏期参詣終わりに際し、一言ご挨拶申し上げます。あえて7月30日にご挨拶させて頂きます事は、実質本日が夏期参詣終了日だからです。明日はお礼参詣日です。

夏期参詣に際し、皆様より夏期供養等ご奉納頂きまして、誠に有難うございました。

また、連日御供養詰め、配りのご奉公、本日も『おうどん』のご奉公ですが、担当して下さいました皆様、誠に有難うございました。

さて、後半のご奉公目標は、「佛立本旨講 弘通隆昌発展 開講本旨再興」「開講本旨再興日尚上人 報恩御奉公成就」「佛立本旨講妙應寺 弘通隆昌発展」です。我々信者は、ご指示頂いた事に対する返事は3通りしかございません。『はい』『イエス』『かしこまりました』です。

後半のご弘通ご奉公に頑張りましょう。

夏期参詣一ヶ月間ご苦勞様でした」

夏季総回向が奉修されました

7月
23

夏季総回向は、今年から7月に奉修することになり、7月23

日(日)に本堂並びに六角堂にお参詣いただきました。

本堂には多数のお塔婆が奉呈され、御導師他の代表焼香をいただき、先亡の方々並びにご先祖のご回向が勤まりました。その後、12時半よりバス参詣者を含めて、六角堂本堂および霊堂にてご回向の御看経、参詣者全員によるお焼香が行なわれました。

六角堂にはあずま屋も完成し、境内もご奉公者により整備されてきました。秋の彼岸総回向には誘い合って大勢で参詣さ

せていただきました。

そのあずま屋を清掃ご奉公時に利用した品川教区のTさんは、「お掃除のご奉公の後、新しいあずま屋でいただいたご供養は格別でした」と大満足。



お寺でも御講奉修

新本堂に移って、新しく導入されたご奉公に、2階和室を活用した御講奉修があります。元々は、昼間働いていてお講席主になれない方に、お講席の場を提供しようという趣旨で始



まりました。そのために、まず、閉門時間をこれまでの夕方6時から7時に延長しました。そして、現在では、甲・乙御講の場所として広くご利用いただいております。

8月5日(土)、千葉連合の甲の御講の前助行が奉修されました。席主は船橋市のSさん。普段は、千葉方面に行く機会はなかなか取れませんが、このように本駒込で奉修されますと、甲の御講にも応援参詣がしやすくなりますね。
皆さんも、ご活用ください。

平成29年7月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願 朝参詣週間
- 1日～31日 夏期参詣
- 1日(土) 開講本旨再興祈願総講 を午前10時半より奉修 運営会議を午後0時半より開催
- 5日(水) 夏季総回向 御回向・御塔婆申込締切
- 8日(土) 連合幹事会を午前9時半より開催
- ” 後続者育成連絡会を午前10時半より開催
- 13日(木) 高祖大士御命日総講を午前10時半より奉修
- 17日(月・祝) 開導聖人御命日総講を

飯田妙彰親会場の看板が掲げられました



6月18日の開導会で御導師より授与されました長野の飯田妙彰親会場の看板がYさんのご自宅玄関に掲げられました。
Yさんは次のように語っています。

「最初は御宝前の横のタンスの上に掲げてありましたが、玄関に掲げました。最初はポストの横でしたが、ホームセンターで

きれいな板を購入してネジドメしました。古い家ですが立派になりました。

これで外に向かつて主張する後押しをいただいたようです。これまでは、自分や関係者だけにしかわかりませんでした。これから大手をふって、ご信心の話、ご利益の話など、佛立本旨講についてご弘通がさらにできるという力強さを感じています。

玄関からの出入りの時に、崇高さというか、建物に看板の重さを感じています」

23日(日)
午前10時半より奉修
夏季総回向法要を午前

25日(火)
門祖聖人御命日総講を
午前10時半より奉修
て奉修

30日(日)
開講本旨再興祈願口唱会
を午前9時半より奉修
若い人の口唱会を午前
10時半より奉修

31日(月)
夏期参詣が終了
夏期供養奉納締切

若い声が頼もしく 本堂に響き渡る口唱会



開講本旨再興祈願口唱会に引き続き、今月も若い人の口唱会が奉修されました。もともと、

第二地区のMさん(さがみ原教区)ら若い人を中心に行なわれていました。が、今では全地区合同で行なわれておりま

す。次世代を担う頼もしい後姿です。
参加されたKさん(かながわ南教区)は「回数を重ねること

高祖会で

ご奉公をしませんか!

10月15日に奉修される、高祖会でご奉公をしませんか? 今年も、各教区の皆さんで席上、司会、外部誘導など、ご奉公を分担していただきますが、新本堂では、ご奉公内容も新しく

にお参詣者が増えて嬉しい。今後もっと増えてゆくように、みなさんにも声掛けのご協力をいただきたい」と話しております。
妙應寺では、ホームページを使って情報共有をしております。声掛けにご活用ください。

なっております。

特に、ご供養場での湯茶接待、また座の入れ替え時の誘導など、ご奉公の専門性を考えております。詳しくは弘通部までお問い合わせください。



教化とは、

応援祈願をすすめること

御仏みほとけが此この世よに御出現ごしゅつげん（誕生）

遊ばされた目的は、世の中のものすべての人々を教化きょうかするためです。教化とは、法華辞典によりますと、「佛の教えを頂き、悪行から善行に転じさせる事」とあります。つまり佛様の教えを良く理解させ佛様と同じ考え方が身に付くよう導き育てることであります。しかし生きて行く上で最も大切である上行所伝の妙法を人に伝え持たもたせる教化が一番むずかしい時代と言われています。

妙應寺みょうおうじでは、次世代を担たう若

い人達ひとたちに応援祈願おうえんきがんをすすめています。他人ひとのために応援祈願おうえんきがんを書く事が信心を覚えるキツカケになるからです。従したがって、複写の祈願カードは必ず本人に書いて頂き、一枚目はお寺の御宝ごほうぜん前に奉呈ほうていし、最初は短くても朝夕御祈願成就ごきがんの御看経おかんきんを忘れないようすすめ励はげます事が肝心かんじんです。ところが親が子供や孫に応援祈願おうえんきがんを奨すすめることは優やさしい様ですが他人ひとがすすめるよりむ

ずかしい問題がたくさんあります。

それは子供や孫は、生まれてからずっと親と一緒に暮らして来ていますから、お互いに性格とか考え方も知り尽くしています。従したがってすぐいいよと言って呉くれないのではないかと、駄目だめかも知れないと云う先入観せんいゅうかんがあるからです。そこで、教区内の信者仲間の協力が必要です。教区連合内の信者が協力して次世代を担たう人々に応援祈願をすすめる気風きふうを作ることが信行相続しんぎょうそうぞくの為に、また次の世代を担たう人を育てる為にも、今とても大切なご奉公ほうこうであります。

（久野信友師）

見つけてくれた

入間教区 Sさん

孫のI君のお話をさせていた
だきます。

春休みに我が家に皆で遊びに
来ていた時の事です。四月八日
がI君の九歳のお誕生日ですの
で、皆でI君が欲しがっていた
レゴをプレゼントしました。レ
ゴとは小さな部品を組み合わせ
て作るプラモデルのようなもの
です。I君にプレゼントしたもの
は、十五歳以上用で、説明書
だけでも二百ページもある大作
でした。

娘たちと買い物に行こうと
言った時、I君は「僕はレゴを
作りたいから待っている」と言
い出しましたので、I君一人を
留守番させて買い物に出かけま
した。二時間ほどして帰ってく

ると、私のほうへとんで来て「ね
え、御法様のお陰だと思おう」と
言うのです。

「どうしたの？」と聞くと「レ
ゴを作っていたら作品の中でこ
の部品が無かったら完成できな
いという一番大切な小さな部品
が無くなってしまった。何度も
何度も探したけど、どうしても
見つからなかったもので、南無妙
法蓮華経をしたら、そうしたら、
あんなに探しても無かった所か
ら見つかったの、御法様のお陰
だよ」と言うのです。

私は子供の純粹さにちよつと
感動しました。九歳の子供が
困った時に、御法様に真剣に御
祈願をし、お題目を唱え、そし
てご利益を感得したのです。本

当に御法様を生きてましますと
信じ、どんな問題も御祈願を立
てて乗り越えます、が身につい
ているのかな？と、うれしく
思いました。

一緒に生活してみると、朝起
きるとすぐに三人が御宝前の前
に座り、いろんな方々の御祈願
を言上し、六〇回お題目を唱え
るのです。これは、夜もそして
外出する前のお看経の時もする
のです。

例えば、私の母のことを「バ
アバがずっと元気で頑張れます
ように」とか「Tさんの骨折が
治りますように」とか、いとこ
の「Yくんの風邪が治りますよ
うに」といった具合にたくさん
の御祈願をしている姿を見た
時、心よりうれしくなり、自分
の改良すべきことがたくさん見
つかりました。そして、I君が
一言「御法様が家に居ない人っ
て、よくこわくないよね」

生きてまいります

千葉中央教区 Sさん

受話器の向こうで、お姉ちゃんごめんねごめんね、と妹の声でした。嫌な予感が一瞬横ぎり話を聞いているうちにその場に座り込んでしまいました。落ちていて落ち着いてと自分自身に言い聞かせますが頭の中が真っ白になっていました。御法様に助けて頂かなければと御宝前の前に座り、申し訳ありませんでした、お許しください、どうか妹を助けてくださいと御法様にお願ひさせて頂きました。私が妹にしてあげられることは、御祈願をたてて、お看経を頂くことでした。お看経を頂いている

時は気持ちがとても楽になり自然と御宝前の前に座っておりました。一本二本と雑念がわかないように頂くのですが、おすがりさせていただいていないと感じました。三本四本と御本尊様を見つめてお看経を頂いていると、日尚上人のお顔が浮かび上がり「大丈夫」とにっこりお笑いになって声をかけてくださいました。私はもうびつくりしてしまい目を疑いました。その時まで気が付かなかったのですが、御法様のお題目が大きく目の前にお出ましになり、日尚上人と同時に、お題目がすーっと

引いていきました。その時からお看経が上がるようになり、おすがりさせて頂ける様になりました。

お陰様で、妹は元気に回復しております。初めの病院で検査の結果はとても悪い内容でしたので、手術していただく病院は家族で話し合い、妹は病院の手続きを一人でも気丈に行い、すべて御宝前におまかせさせて頂きました。素晴らしい先生にお出会い出来ることになり、本当に有難く、妹のお徳だと思いました。

今回の事でおすがりは、いつもできると思っていました、いつしか慢心の気持ちが生まれ、改めて日頃のお看経の大切さに気付かせて頂きました。

回向の功德

富里教区 Kさん

お看経を上げさせて頂いたあとお講師が、育成助行でご回向させて頂いたくのはとても良いことですね、とおっしゃいました。今日はNさんのお父様の百か日忌法要だったのです。

いえいえ、ご回向の日にお助行を合わせたではありません。お助行を6月1日に決めたのは4ヶ月も前の2月9日、私の家でのお助行の時には、お父様もご存命で、咀嚼そしゃくが難しいが食欲はおありなのでご回復の兆しがあると参詣者の皆さんでお

話していたのです。

また、今年度の新しい試みとして、次のお助行の日にちを極めて確保しようと、Kさんと私で6月1日の日に決めたのです。

人の寿命というのは御法様がお決めになっっているのです。そして、新しい試みをご奉公に取り入れようと考えた矢先の現証ご利益としか言いようがありません。

何より、お父様の功德と、間違はなく寂光に旅立たれている

というおしらせとして、今日のお助行は特別な深く心に残るお助行となりました。

ちなみに、今回は、8月24日(木)午後から千葉席のお助行日として予定しております。



★こどもたちの会★

「お父さんが変わった!？」



翌日からさっそくお花のお水を替えていました。



⑥ いつもなら20倍返しの主人ですがー

眠い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い! 痛い!



女も言わずにお給仕をしてくれる様になりました。



⑦ リウマチで痛い手と足でしたが、

痛くて眠れな〜い!!



お父さん!!



それは本当に良かったですね!!

そしてその日から、一度も痛いと言わなくなりました!!

⑧ 何年もリウマチの薬を飲んでるのにどうして治らないんだ!!

③ お父さんは、まったく感謝の気持ちがないですね!!



④ 良い方向に進みましたね。

④ 言ってしまった手前、どうにかなるかなあとはいっしょに考えていたのですが...

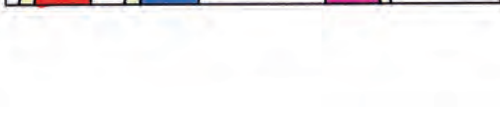
④ 皆さん、あなたの為に一生懸命祈願お経してあげているのですよ!!



⑤ 私たちもお父さんの祈願元張りますね!!

⑤ これからも2人でご奉公に励みたいです!!

⑤ 痛い痛いと言っただけではなく、少しでもご室前のお給仕してみたらどうですか?!



⑥ と、今までがまんしてきたのですが、つい主人に言っちゃいました。

